

22 文献総合目録

(1) 平成27年度に発表等を行った文献数一覧

(単位：編)

学 会 誌		公刊図書	機関誌	計
論文・報告	発表・講演要旨			
30	124	7	125	286

(2) 平成27年度に発表等を行った文献の目録

01 育種一般及び育種計画

011 総説

1. 松下通也、大規模長期研究に携わることで研かれるキャリア・視点とは、生態学会要旨集 63 : U08、2016. 03
2. 吉田和正、“森林バイオ研究センター 1. 試験研究の動向 森林バイオ研究センター 3. 今後の課題”、森林総合研究所百十年のあゆみ : 265 : 270-271、2016. 02
3. 中田了五、ニュージーランドの林木育種、森林技術 : 887 : 12-15、2016. 02
4. 那須仁弥、東北育種基本区におけるカラマツのエリートツリーの選抜、みどりの東北 : 144 : 6、2016. 03
5. 久保田正裕、スギ・ヒノキ精英樹の特性評価について、関西育種場だより : 78 : 3、2015. 11
6. 久保田正裕、関西育種場 2.1 新品種の開発、森林総合研究所百十年のあゆみ : 285-286、2016. 02
7. 久保田正裕、関西育種場 2.2 地域ニーズを踏まえた研究の推進、森林総合研究所百十年のあゆみ : 286、2016. 02
8. 久保田正裕、関西育種場 2.3.1 民間等との連携による初期成長の早いスギ、抵抗性アカマツ実証試験の取り組み、森林総合研究所百十年のあゆみ : 287、2016. 02

012 育種計画

1. 大平峰子・花岡創・平岡裕一郎・三浦真弘・栗田学・渡辺敦史(九州大学)、新世代林業種苗を迅速に増殖するための取り組み、森林遺伝育種学会大会講演要旨集 : 4 : 46、2015. 11
2. 大平峰子、原種の増殖と普及、新世代種苗の増殖マニュアル : 2、2016. 03
3. 大平峰子・高橋誠、増殖方法の概要、新世代種苗の増殖マニュアル : 3、2016. 03
4. 大平峰子・花岡創、さしつけの時期、新世代種苗の増殖マニュアル : 4、2016. 03
5. 大平峰子、発根促進剤の処理、新世代種苗の増殖マニュアル : 6、2016. 03
6. 大平峰子・花岡創・三浦真弘・平岡裕一郎・高橋誠、さし床、新世代種苗の増殖マニュアル : 7、2016. 03
7. 大平峰子、植物工場の特徴、新世代種苗の増殖マニュアル : 8、2016. 03
8. 大平峰子・平岡裕一郎、植物工場内で育成したさし木苗からの採穂とさしつけ、新世代種苗の増殖マニュアル : 10、2016. 03
9. 大平峰子、光環境、新世代種苗の増殖マニュアル : 12、2016. 03
10. 大平峰子、発根した苗の促成栽培、新世代種苗の増殖マニュアル : 13、2016. 03
11. 松下通也、“環太平洋域とつながる林木育種協力-防風林早期造成のためのテリハボクの育種研究-”、平成27年度林木育種成果発表会 要旨集、2016. 02
12. 久保田正裕、ヒノキエリートツリーのさし木品種開発について、平成27年度林木育種成果発表会 : p. 8、2016. 02
13. 倉本哲嗣、スギエリートツリー植栽試験地の設定状況ー利用者が納得して選べるようにー、九州育種場だより : 31 : 1-2、2015. 07
14. 倉本哲嗣、ヒノキについての新たな品種の開発、九州育種場だより : 31 : 4、2015. 07
15. 倉本哲嗣、更に優れたエリートツリーの創出をめざして、九州育種場だより : 31 : 5、

2015. 07

16. 倉本哲嗣、新品種の開発、森林総合研究所百十年のあゆみ：290-291、2016. 02
17. 倉本哲嗣、地域ニーズを踏まえた研究の推進、森林総合研究所百十年のあゆみ：291-292、2016. 02
18. 倉本哲嗣・佐藤省二、地域との連携による成果の普及、森林総合研究所百十年のあゆみ：292-293、2016. 02

0 2 遺伝、育種及び変異

0 2 1 選抜

1. 高島有哉・井城泰一・平岡裕一郎・三嶋賢太郎・花岡創・大平峰子・平尾知士・坪村美代子・栗田学・能勢美峰・高橋誠・渡辺敦史(九州大学大学院農学研究院)、GWAS に向けた第一世代精英樹の形質評価、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：40、2015. 11
2. 高橋誠、林木における優良品種の普及と品種開発技術の高度化、林業技士会ニュース：133：5-8、2015. 1
3. 高橋誠、1. 研究または事業の動向、森林総合研究所百十年のあゆみ：233、2016. 02
4. 高橋誠、3. 今後の課題、森林総合研究所百十年のあゆみ：242-243、2016. 02
5. 高橋誠、分子育種技術を活用した林木育種の高度化に関する研究、森林総合研究所百十年のあゆみ：381-383、2016. 02
6. 平岡裕一郎、1-2 林木育種の高速化に向けた研究、林木育種の最前線-2011 年度～2015 年度の主要成果-：4、2015. 1
7. 平岡裕一郎・高橋誠・栗田学・井城泰一・田村明・福田陽子・三浦真弘・玉城聡・久保田正裕・磯田圭哉・武津英太郎、3-6 精英樹の次世代化に向けた取り組み、林木育種の最前線-2011 年度～2015 年度の主要成果-：16、2015. 1
8. 矢野慶介・中田了五・福田陽子・田村明・山田浩雄、道央地域に植栽したヤナギの3年次におけるバイオマス収量のクローン間変異、日本森林学会大会学術講演集：127：144、2016. 03
9. 井城泰一、平成 26 年度東北育種基本区における新品種の開発、東北の林木育種：No. 209：4-5、2015. 07
10. 那須仁弥・井城泰一・宮本尚子・山野邊太郎・織部雄一郎、東北育種基本区選抜のアカマツ精英樹交配家系における幹の通直性と諸形質との遺伝相関の推定、第 127 回日本森林学会大会学術講演集：127：140、2016. 03
11. 久保田正裕・篠崎夕子・笹島芳信・岩泉正和・河合慶恵・磯田圭哉、関西育種基本区において選抜されたヒノキ第2世代精英樹候補木の成長と材質について、応用森林学会大会研究発表要旨集：66：50、2015. 1
12. 久保田正裕・篠崎夕子・磯田圭哉・岩泉正和・河合慶恵・笹島芳信・祐延邦資(森林総研非常勤職員)・林勝洋・柏木学、関西育種基本区におけるスギ第2世代精英樹候補木の選抜ースギ 24 号、スギ 27 号における実行結果一、平成 27 年版林木育種センター年報：160-162、2015. 08
13. 武津英太郎・松永孝治・倉原雄二・栗田学・倉本哲嗣・高橋誠、九州におけるヒノキの育種区の検討に向けた次代検定林間の家系相関の解析、第 71 回九州森林学会大会：71：508、2015. 1
14. 武津英太郎・平岡裕一郎・栗田学・倉本哲嗣・渡辺敦史(九州大学)、統計遺伝学的解析手法の改良による 遺伝的能力の予測精度向上の試み、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：45、

2015. 11

15. 武津英太郎・平岡裕一郎・栗田学・倉本哲嗣・渡辺敦史(九州大学)、新系統選抜のための統計遺伝学的解析手法の高度化、農林水産技術会議委託プロジェクト成果発表シンポジウムスギにおける分子育種の幕開け：発表番号 1、2015. 11

0 2 2 交雑(技術、交雑プロジェクト等を含む)

1. 花岡創・加藤一隆、テリハボクの交配様式の推定、亜熱帯森林・林業研究会講演要旨集：p5、2015. 08
2. 栗田学・平岡裕一郎・花岡創・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、スギ雌花の開花フェノロジーと気温の関連性について、第 71 回九州森林学会大会：71：401、2015. 1
3. 栗田学・平岡裕一郎・山野邊太郎・田村美帆(九州大学)・平尾知士・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、室内種子生産技術の実用化に向けた諸条件の検討と交配実態の把握、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：47、2015. 11
4. 栗田学・平岡裕一郎・山野邊太郎・平尾知士・田村美帆(九州大学)・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、スギの室内種子生産技術の実用化に向けた室内交配条件の試験、育種学研究：18(別 1)：230、2016. 03
5. 栗田学・平岡裕一郎・花岡創・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、スギ雌花の開花フェノロジーと気温の関連性について、九州森林研究：69：ページ未定、2016. 03

0 2 3 変異(系統分類、倍数体を含む)

1. 高橋誠・宮本尚子・小野雅子・栗田祐子・平尾知士・山野邊太郎・松永孝治・竹田宜明・渡辺敦史(九州大学)、系統管理の精度を高めるためのトレイサビリティ・システム、林木育種の最前線—2011 年度～2015 年度の主要成果—：14、2015. 08
2. 高橋誠・栗田学・平岡裕一郎・井城泰一・三嶋賢太郎・能勢美峰・坪村美代子・大平峰子・近藤禎二・星比呂志・花岡創・平尾知士・武津英太郎・渡辺敦史(九州大学)・田村美帆(九州大学)・藤澤義武(鹿児島大学)、スギの遺伝子発現情報の蓄積と統合、林木育種の最前線—2011 年度～2015 年度の主要成果—：18、2015. 08
3. 高橋誠・星比呂志・栗田学・平岡裕一郎・井城泰一・三嶋賢太郎・能勢美峰・坪村美代子・大平峰子・近藤禎二・花岡創・平尾知士・武津英太郎・渡辺敦史(九州大学)・田村美帆(九州大学)・藤澤義武(鹿児島大学)、ゲノム情報を活用した新たなスギ育種、林木育種の最前線—2011 年度～2015 年度の主要成果—：19、2015. 08
4. TAKAHASHI Makoto (高橋誠)・HIRAOKA Yuichiro (平岡裕一郎)・KURITA Manabu (栗田学)・MISHIMA Kentaro (三嶋賢太郎)・HIRAO Tomonori (平尾知士)・IKI Taiichi (井城泰一)・TAMURA Miho (田村美帆・九州大学)・FUKATSU Eitaro (武津英太郎)・NOSE Mine (能勢美峰)・TSUBOMURA Miyoko (坪村美代子)・OHIRA Mineko (大平峰子)・MIURA Masahiro (三浦真弘)・TAKASHIMA Yuya (高島有哉)・YAMANOBE Taro (山野邊太郎)・KURAMOTO Noritsugu (倉本哲嗣)・CHIGIRA Osamu (千吉良治)・HOSHI Hiroshi (星比呂志)・WATANABE Atsushi (渡辺敦史・九州大学)、Establishment of Genomic Resources Aiming at Accelerating Advanced-Generation Tree Breeding By Molecular Breeding in Japanese Cedar (*Cryptomeria japonica* D. Don)(スギ(*Cryptomeria japonica* D. Don)における分子育種による高速次世代林木育種に向けたゲノム資源の確立)、Plant & Animal Genome Conference XXIV：P1180、2016. 01

5. 郷田乃真人(九州大学)・坪村美代子・栗田学・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、
爽春家系における雄性不稔個体識別マーカーの開発、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：
15、2015.11
6. 郷田乃真人(九州大学)・坪村美代子・栗田学・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、
爽春家系から開発された雄性不稔個体識別マーカーの適用、日本森林学会大会学術講演集：
127：141、2015.11
7. 能勢美峰、遺伝子発現解析からみたスギの環境応答、林業いばらき 699：9、2015年10月
8. 能勢美峰・栗田学・武津英太郎・井城泰一・花岡創・田村美帆(九州大学)・平岡裕一郎・
松下通也・三浦真弘・三嶋賢太郎・坪村美代子・高橋誠・柳原尚貴(九州大学)・渡辺敦史
(九州大学)、遺伝子発現プロファイルを利用したスギの伸長成長に影響を与える環境条件
の検討、第127回日本森林学会大会、2016年3月
9. 能勢美峰、遺伝子発現レベルからみたスギの環境適応、林木育種情報、2016年3月
10. HIRAOKA Yuichiro (平岡裕一郎)・HANAOKA So (花岡創)・WATANABE Atsushi (渡辺敦史・九
州大学大学院農学研究院)・KAWAHARA Takayuki (河原孝行)・TABATA Masanobu (田端雅進)、
Evaluation of the growth traits of *Toxicodendron vernicifluum* progeny based on their
genetic groups assigned using new microsatellite markers(新たなマイクロサテライトマ
ーカーによる遺伝的構成に基づくウルシ実生の成長形質の評価)、*Silvae Genetica*：63(6)：
267-275、2015.08
11. 平岡裕一郎・平尾知士・三嶋賢太郎・田村美帆(九州大学大学院農学研究院)・武津英太郎・
井城泰一・坪村美代子・能勢美峰・栗田学・高橋誠・星比呂志・渡辺敦史(九州大学大学院農
学研究院)、スギ精英樹におけるGWASとゲノミック予測、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：
4：43、2015.11
12. 平岡裕一郎、ゲノム情報を利用した優良系統選抜技術の開発、農林水産技術会議委託プロジ
ェクト成果発表シンポジウム「スギにおける分子育種の幕明け」要旨：巻号ページなし、
2015.11
13. 平岡裕一郎・平尾知士・三嶋賢太郎・田村美帆(九州大学大学院農学研究院)・武津英太郎・
井城泰一・坪村美代子・能勢美峰・大平峰子・花岡創・高橋誠・星比呂志・渡辺敦史(九州大
学大学院農学研究院)、スギ精英樹におけるゲノムワイドアソシエーション解析とゲノミッ
ク予測、日本森林学会大会学術講演集：127：P1-123、2016.03
14. HIRAOKA Yuichiro (平岡裕一郎)・HIRAO Tomonori (平尾知士)・MISHIMA Kentaro (三嶋賢太
郎)・TAMURA Miho (田村美帆・九州大学大学院農学研究院)・FUKATSU Eitaro (武津英太郎)・
IKI Taiichi (井城泰一)・TSUBOMURA Miyoko (坪村美代子)・NOSE Mine (能勢美峰)・OHIRA
Mineko (大平峰子)、HANAOKA So (花岡創)・KURITA Manabu (栗田学)・TAKAHASHI Makoto (高
橋誠)・HOSHI Hiroshi (星比呂志)・WATANABE Atsushi (渡辺敦史・九州大学大学院農学研究
院)、GENOME-WIDE ASSOCIATION STUDY AND GENOMIC PREDICTION FOR *CRYPTOMERIA JAPONICA*
PLUS TREES (スギ精英樹におけるゲノムワイドアソシエーション解析とゲノミック予測)、
Forest Genetics for Productivity Conference：PosterNo.9、2016.03
15. 三嶋賢太郎・平尾知士・井城泰一・平岡裕一郎・坪村美代子・栗田学・能勢美峰・花岡創・
大平峰子・高島有哉・高橋誠・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、大規模ジェノタ
イピングによるスギ連鎖地図作成と育種形質のQTL解析、森林遺伝育種学会大会講演要旨
集：4：41、2015.11

16. 三嶋賢太郎・能勢美峰・栗田学・坪村美代子・平尾知士・平岡裕一郎・花岡創・井城泰一・大平峰子・高島有哉・松下道也・高橋誠・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、スギにおける組織・季節・樹齢別の大規模発現プロファイル、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：42、2015.11
17. MISHIMA Kentaro (三嶋賢太郎)・HIRAO Tomonori (平尾知士)・IKI Taiichi (井城泰一)・HIRAOKA Yuichiro (平岡裕一郎)・FUKATSU-TSUBOMURA Miyoko (坪村美代子)・TAMURA Miho (田村美帆・九州大学)・TAKAHASHI Makoto (高橋誠)・HOSHI Hiroshi (星比呂志)・WATANABE Atsushi (渡辺敦史・九州大学)、Construction of a High-Density Genetic Linkage Map using Axiom Genotyping and Identification of QTLs for Wood Property, Growth and Male Flower Formation in Japanese Cedar (*Cryptomeria japonica*) (スギにおける高密度連鎖地図の作成と材質、成長、雄花に関する QTL 解析)、Plant and Animal GenomeXXIV Confarence：P1174、2016.01
18. 福田有樹(九州大学)・三嶋賢太郎・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、温度と日長がスギ木部遺伝子発現に与える影響、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：13、2015.11
19. 長谷川陽一(秋田県立大学)・吉田明弘(鹿児島大学)・三嶋賢太郎・高田克彦(秋田県立大学)、八甲田山に分布する北限周辺のスギ孤立集団における葉緑体と核の SSR マーカーを用いたクローン解析、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：16、2015.11
20. 稲永路子(秋田県立大学)・長谷川陽一(秋田県立大学)・三嶋賢太郎・高田克彦(秋田県立大学)、De novo アセンブルによるヒバ (*Thujaopsis dolabrata* var. *hondae*) のトランスクリプトーム解析、日本森林学会大会学術講演集：127：P1-119、2016.03
21. 福田有樹(九州大学)・三嶋賢太郎・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、遺伝子発現解析から見たスギの木部形成に対する光や温度の影響、日本森林学会大会学術講演集：127：S5-3、2016.03
22. 谷口亨・小長谷賢一・七里吉彦・栗田学、遺伝子組換え雄性不稔スギの隔離ほ場栽培に向けた生物多様性影響評価、第33回日本植物細胞分子生物学会(盛岡)大会・シンポジウム講演要旨集：10B-11、2015.08
23. 谷口亨、スギにおける遺伝子組換え技術の開発、森林総合研究所110年のあゆみ：265-266、2016.02
24. 谷口亨、遺伝子組換え樹木の野外試験、森林総合研究所110年のあゆみ：266-268、2016.02
25. 谷口亨・河村文郎、薬用系木本植物カギカズラの根の液体培養、関東森林研究：67：ページ未定、2016
26. 林隆久(東京農大)・海田るみ(東京農大)・谷口亨、キシログルカン構成分解によるポプラの改変、植物細胞壁実験法(石井忠ら編：弘前大学出版会)：337-348、2016.02
27. 小長谷賢一・谷口亨・栗田学、遺伝子組換えによる花粉発生制御技術、林木育種の最前線-2011年度～2015年度の主要成果-：36、2015.1
28. 小長谷賢一・吉川信幸(岩手大学)・谷口亨、リンゴ小球形潜在ウイルスベクターを用いた針葉樹における遺伝子発現制御の試み、第33回日本植物細胞分子生物学会(東京)大会・シンポジウム講演要旨集：164、2015.08
29. 小長谷賢一・吉川信幸(岩手大学)・谷口亨、ウイルスベクターを用いた針葉樹における機能未知遺伝子の逆遺伝学的解析システム、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：27、2015.11
30. KONAGAYA Ken-ichi (小長谷賢一)・TANIGUCHI Toru (谷口亨)、Somatic Embryogenesis and

- Genetic Transformation in Cupressaceae Trees. (ヒノキ科樹木における不定胚形成と遺伝子組換え)、Somatic Embryogenesis in Ornamentals and Its Applications (Springer) : 203-216、2016. 01
31. 平尾知士・渡辺敦史(九州大学)、クロマツにおけるマツノザイセンチュウに対する抵抗性メカニズムの解明、林木育種の最前線-2011 年度～2015 年度の主要成果- : 37、2015. 08
 32. 平尾知士・山口莉未(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、マツ材線虫病に対するクロマツ生体防御反応の解明に向けた遺伝子発現解析、森林遺伝育種学会大会講演要旨集 : 4 : 28、2015. 11
 33. HIRAO Tomonori (平尾知士)・MATSUNAGA Koji (松永孝治)・MISHIMA Kentaro (三嶋賢太郎)・WATANABE Atsushi (渡辺敦史・九州大学)、QTL mapping of Pine Wood Nematode (PWN) resistance in *Pinus thunbergii*. (クロマツにおけるマツノザイセンチュウ抵抗性の QTL マッピング)、Plant & Animal Genome Conference XXIV : P1178、2016. 01
 34. 平尾知士、マツ材線虫病抵抗性の分子メカニズム、森林総合研究所百十年のあゆみ : 269-270、2016. 02
 35. 平尾知士・山口莉未(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、マツ材線虫病に対するクロマツ生体防御反応の遺伝子発現解析、日本森林学会大会学術講演集 : 127 : P1-213、2016. 03
 36. Thwe-Thwe-Win (トウウエトウウエウイン・東京大学)・HIRAO Tomonori (平尾知士)・GOTO Susumu (後藤晋・東京大学)、Genetic composition of exotic and native teak (*Tectona grandis*) in Myanmar as revealed by cpSNP and nrSSR markers (葉緑体 SNP と核 SSR マーカーを使ったミャンマーにおけるチークの遺伝的比較)、Conservation Genetics : DOI 10.1007/s10592-015-0777-2、2015. 09
 37. 山口莉未(九州大学)・平尾知士・松永孝治・渡辺敦史(九州大学)、クロマツ生体防御遺伝子群の発現とマツノザイセンチュウの樹体内における挙動との関連性、森林遺伝育種学会大会講演要旨集 : 4 : 20、2015. 11
 38. 柳原尚貴(九州大学)・平尾知士・栗田学・渡辺敦史(九州大学)、DNA マーカーによるスギ精英樹の個体識別の効率化に向けた検討、森林遺伝育種学会大会講演要旨集 : 4 : 31、2015. 11
 39. 田村美帆(九州大学)・平尾知士・三嶋賢太郎・能勢美峰・坪村美代子・栗田学・平岡裕一郎・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、スギ遺伝子に基づく SNP の収集とマーカー開発、森林遺伝育種学会大会講演要旨集 : 4 : 38、2015. 11
 40. 高田直樹、モデル植物の情報から樹木の木部細胞の分化メカニズムを探る、日本木材学会 組織と材質研究会 2015 秋季シンポジウム : 26-29、2015. 1
 41. 高田直樹・谷口亨、木質の改変に利用可能な二次壁特異的プロモーターの同定-ポプラにおいて-、林木育種の最前線-2011 年度～2015 年度の主要成果- : 38、2015. 1
 42. Mikael Johansson (Bielefeld University)・Jose M. Ramos-Sanchez (Universidad Politecnica de Madrid)・Daniel Conde (Universidad Politecnica de Madrid)・Cristian Ibanez (University of La Serena)・TAKATA Naoki (高田直樹)・Isabel Allona (Universidad Politecnica de Madrid)・Maria E. Eriksson (Umea University)、Role of the circadian clock in cold acclimation and winter dormancy in perennial plants. (多年生植物における低温順化と冬季休眠への生物時計の役割)、Advances in Plant Dormancy (Springer) : 51-74、2015. 05
 43. TAKATA Naoki (高田直樹)・TANIGUCHI Toru (谷口亨)、Identification of transcription

- factors that regulate cortical microtubule structure in secondary xylem cells of poplar (ポプラの二次木部細胞において表層微小管の空間構造を制御する転写因子)、日本植物生理学会大会講演要旨集 : 57 : PF-142、2016. 03
44. 高田直樹・谷口亨・朽名夏磨(東京大学)、ポプラにおいて表層微小管の空間構造を制御する転写因子の機能解析、日本木材学会大会研究発表要旨集 : 66 : A27-01-1345、2016. 03
 45. SAKAMOTO Shingo (坂本真吾・産業総合研究所)・TAKATA Naoki (高田直樹)・OSHIMA Yoshimi (大島良美・産業総合研究所)・YOSHIDA Kouki (吉田光毅・大成建設)・TANIGUCHI Toru (谷口亨)・MITSUDA Nobutaka (光田展隆・産業総合研究所)、Wood reinforcement of poplar by rice NAC transcription factor(イネのNAC転写因子を用いてポプラの木質を強化)、Scientific Reports : 6 : 19925、2016. 01
 46. 半智史(東京農工大学)・高橋大輔(Max-Planck Institute)・梅澤泰史(東京農工大学)・春日純(帯広畜産大学)・高田直樹・中田了五・上村松生(岩手大学)・船田良(東京農工大学)、ドロノキ木部放射柔細胞の放射方向におけるタンパク質変動のショットガンプロテオーム解析、日本木材学会大会研究発表要旨集 : 66 : A27-01-1100、2016. 03
 47. 坂本由理奈(東京農業大学)・勇達也(東京農業大学)・佐藤瑛梨奈(東京農業大学)・山崎稜太(東京農業大学)・海田るみ(東京農業大学)・太治輝昭(東京農業大学)・坂田洋一(東京農業大学)・林隆久(東京農業大学)・馬場啓一(京都大学)・高田直樹・谷口亨・亀山昭彦(産業総合研究所)・矢追克郎(産業総合研究所)、シロイヌナズナのキシログルカン 4- β -グルコシルトランスフェラーゼと 6- α -キシロシルトランスフェラーゼを共発現するポプラ、日本木材学会大会研究発表要旨集 : 66 : A28-P-33、2016. 03
 48. "NANASATO Yoshihiko (七里吉彦)・KIDO Masafumi (木戸真史・鳥取大学)・KATO Atsushi (加藤敦司・鳥取大学)・UEDA Tomoki (植田朋樹・鳥取大学)・Sony Suharsono (y, Bogor Agricultural University)・Utut Widayastuti (y, Bogor Agricultural University)・TSUJIMOTO Hisashi (辻本壽・鳥取大学)・AKASHI Kinya (明石欣也・鳥取大学)", Efficient genetic transformation of *Jatropha curcas* L. by means of vacuum infiltration combined with filter-paper wicks. (減圧浸潤とろ紙培地の組み合わせによる効率的なジャトロファの形質転換方法)、In Vitro Cellular and Developmental Biology-Plant : 51 (4) : 399-406、2015. 08
 49. 七里吉彦、ゲノム編集技術：林木育種への利用にむけた技術開発(1)、林木育種情報 : 20 : 4、2016. 01
 50. 七里吉彦、ゲノム編集技術：林木育種への利用にむけた技術開発 (2)、林木育種情報 : 21 : 6、2016. 03
 51. 上野山遼(鳥取大学)・七里吉彦・木戸真史(鳥取大学)・加藤敦司(鳥取大学)・植田朋樹(鳥取大学)・辻本壽(鳥取大学)・明石欣也(鳥取大学)、可視化マーカーを用いたバイオ燃料植物ジャトロファの形質転換、第33回日本植物細胞分子生物学会(東京)大会・シンポジウム講演要旨集 : 166、2015. 07
 52. FUKATSU Eitaro (武津英太郎)・MATSUNAGA Koji (松永孝治)・KURITA Manabu (栗田学)・KURAMOTO Noritsugu (倉本哲嗣)・TAKAHASHI Makoto (高橋誠)、The inheritance of the annual pattern of height growth in *Cryptomeria japonica* (スギの樹高成長パターンの遺伝性)、Forest Genetics for Productivity Conference : PosterNo. 8、2016. 03

0 3 樹種、品種の選択と植栽試験

0 3 1 次代検定(育種効果を含む)

1. MATSUSHITA Michinari(松下通也)・TAKATA Katsuhiko(高田克彦・秋田県立大)・HITSUMA Gaku(櫃間岳)・YAGIHASHI Tsutomu(八木橋勉)・NOGUCHI Mahoko(野口麻穂子)・SHIBATA Mitsue(柴田銃江)・MASAKI Takashi(正木隆)、A novel growth model evaluating age-size effect on long-term trends in tree growth、Functional Ecology 29(10) : 1250-1259、2015. 1
2. 松下通也・花岡創・加藤一隆・板鼻直榮・楠城時彦・千吉良治、防風林早期造成のためのテリハボクにおける初期成長性の評価、平成 27 年度 亜熱帯森林・林業研究会 発表要旨集:p6、2015. 08
3. 久保田正裕、懇話会会員と連携した初期成長の早いスギ精英樹植栽共同試験について、関西の林木育種 : 76 : 1-2、2015. 09
4. 篠崎夕子・久保田正裕・三浦真弘・河合貴之・磯田圭哉、四国地方におけるエリートツリーの開発と四国森林管理局との共同植栽試験について、四国森林・林業研究発表集(平成 27 年度) : 83-87、2016. 03

0 3 2 試植検定林

1. 松下通也・花岡創・加藤一隆・板鼻直榮・楠城時彦・千吉良治、“テリハボクの初期成長特性における家系間差：母樹の生育環境による早生型・晩生型は存在するか？”、生態学会要旨集 : 63 : F1-04、2016. 03

0 3 3 産地試験

1. 松下通也・花岡創・加藤一隆・楠城時彦・千吉良治、海流散布樹木テリハボクにおける形態形質の島嶼間・家系間変異、森林学会要旨集 : 127 : P1-111、2016. 03
2. 三浦真弘・高橋誠・平岡裕一郎・井城泰一・能勢美峰・山田浩雄・花岡創・中田了五・久保田正裕・磯田圭哉・倉本哲嗣・千吉良治・武津英太郎・渡辺敦史(九州大学)、5-2 スギの生育環境への適応性の評価、林木育種の最前線—2011 年度～2015 年度の主要成果—:42、2015. 1
3. 三浦真弘・花岡創・平岡裕一郎・井城泰一・高橋誠・山田浩雄・中田了五・磯田圭哉・久保田正裕・武津英太郎・千吉良治・倉本哲嗣・渡辺敦史(九州大学)、スギの生育環境への適応性の評価、森林総合研究所 平成 27 年版 研究成果選集 : 62-63、2015. 07
4. 三浦真弘、スギ種苗の移動について、関西育種場だより : 79 : 2、2016. 03
5. 三浦真弘、林業用種苗の移動にともなう適応性の評価、関西の林木育種 : 77 : 2-3、2016. 03
6. 三浦真弘・花岡創・平岡裕一郎・井城泰一・磯田圭哉・武津英太郎・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、全国から集めたスギ精英樹の初期成長の産地間差、日本森林学会大会学術講演集 : 127 : P1-124、2016. 03
7. 三浦真弘、造林木の生育環境への適応性の評価、平成 27 年度近畿中国森林管理局森林・林業交流研究発表集録 : 特別発表 2、2016. 03

0 4 採種園、結実促進、その他有性繁殖

0 4 1 採種園関係

1. 田中功二(青森県産業技術センター林業研究所)・平岡裕一郎・平尾知士・渡辺敦史(九州大学大学院農学研究院)、スギミニチュア採種園におけるブルーシート被覆の外部花粉遮断効果、

日本森林学会大会学術講演集：127：P1-131、2016.03

2. 松永孝治・柳原尚貴(九州大学生物資源環境科学府)・栗田学・田村美帆(九州大学農学部農学研究院)・渡辺敦史(九州大学農学部農学研究院)、抵抗性クロマツの最適な採種園設計に向けた近親交配の影響解析、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：23、2015.11

042 着花促進、種子生産性等

1. 加藤一隆・平岡裕一郎・井城泰一・大平峰子・坪村美代子・小野雅子・栗田学、ヒノキのジベレリン処理ーペーストと粉末処理による着花状況の比較試験ー、関東森林研究：66(2)：253-256、2015.1
2. 田村明・中田了五・坂本庄生・佐藤亜樹彦・久保田権・生方正俊・山田浩雄・竹田宣明・黒丸亮(北海道立総合研究機構林業試験場)・来田和人(北海道立総合研究機構林業試験場)・内山和子(北海道立総合研究機構林業試験場)・出口隆(北海道山林種苗協同組合)・畑欣明(林野庁)・田之畑忠年(北海道森林管理局)・阿部正信(北海道森林管理局)・藤生浩史(北海道森林管理局)・足立康成(北海道森林管理局)・三上敬一(北海道森林管理局)・坂後浩(北海道森林管理局)・山口和久(北海道庁)、カラマツ育種種子不足への林木育種の寄与、林木育種の最前線ー2011年度～2015年度の主要成果ー：43、2015.08
3. 田村明・松下通也・矢野慶介・来田和人(地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場)・今博計(地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場)・石塚航(地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場)、樹冠中のカラマツ球果数の簡易推定方法の開発、日本森林学会大会学術講演集：127：142、2016.03
4. 山野邊太郎・太田清隆(太田苗園)・佐藤靖(佐藤苗園)・小山邦夫(宮城県農林種苗農業協同組合)・今野幸則(宮城県林業技術センター)・織部雄一朗、寒冷地におけるエタノール精選種子の発芽とそのコンテナ苗、関東森林学会大会講演要旨集：5：16、2015.1
5. 山野邊太郎・太田清隆(太田苗園)・佐藤靖(佐藤苗園)・小山邦夫(宮城県農林種苗農業協同組合)・今野幸則(宮城県林業技術総合センター)・宮本尚子・那須仁弥・織部雄一朗、クロマツ種子発芽におけるエタノール精選と灯油精選の比較、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：11、2015.11
6. 福田陽子、花が咲かねば苗木ができないー樹木の着花をコントロールするー、北の森だより：15：4、2016.1
7. 福田陽子、優れた品種のタネを作る、野幌の丘から：186：3、2016.2
8. 福田陽子・矢野慶介・斉藤秀之(北大院農)・田村明・山田浩雄・栗田学、次世代シーケンスを利用したカラマツの花芽形成期に発現する遺伝子の網羅的解析、北方森林研究：64：73-76、2016.2
9. 福田陽子・田村明・矢野慶介・栗田学・斉藤秀之(北大院農)・中田了五、カラマツの花芽形成期における光周性関連遺伝子の発現解析、日本森林学会大会学術講演集：127：138、2016.3
10. 矢野慶介・西岡直樹・坂本庄生・織田春紀・田村明・松下通也・来田和人(道総研林試)・今博計(道総研林試)・石塚航(道総研林試)、定性的な着果指数評価と個体サイズから推定したトドマツの着果量、第64回北方森林学会大会：64：5(P-16)、2015.1
11. 蓬田英俊(岩手県林業技術センター)・玉城聡、カラマツ種子増産に向けた国有林のカラマツ採種園再生利用と着花促進試験の取り組み、森林遺伝育種：4(1)：26-30、2015.01
12. 宮本尚子・織部雄一朗・山野邊太郎、抵抗性クロマツの種子生産性の量的・質的向上について

- て ～SMP(袋かけをしない簡易人工交配)の活用～、岩手県林業技術センター：国立研究開発法人森林総合研究所東北支所・林木育種センター東北育種場 合同成果報告会：2-5、2016. 02
13. 宮本尚子・山野邊太郎、1. 優良種子の生産性の向上 1. 2. SMP による種子の充実率の向上と品質保持、寒冷地におけるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ苗木の安定供給：7-9、2016. 02
 14. 宮本尚子・山野邊太郎、1. 優良種子の生産性の向上 1. 3. 充実種子の確実な選別、寒冷地におけるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ苗木の安定供給：10-11、2016. 02

0 5 採穂園、その他無性繁殖

0 5 1 さし木、つぎ木、発根性等

1. 大平峰子・花岡創・平岡裕一郎・渡辺敦史(九州大学)、スギさし木苗の根系におけるクローン間差異、第 43 回根研究集会：43：B3、2015. 1
2. 大平峰子・花岡創・平岡裕一郎・渡辺敦史(九州大学)、スギさし木苗の根系成長におけるクローン間変異、日本森林学会大会学術講演集：127：139、2016. 03
3. 高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、短期間で新系統を選抜・増殖する技術の開発、新世代種苗の増殖マニュアル：1、2016. 03
4. 袴田哲司(静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター)・平岡裕一郎・山本茂弘(静岡県農林大学校)・加藤公彦(静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター)、マツ材線虫抵抗性クロマツの挿し木発根性における母樹からの採穂部位、挿し穂の重量、冬芽数、針葉伸長の影響、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：18、2015. 11
5. HAKAMATA Tetsuji (袴田哲司・静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター)・HIRAOKA Yuichiro (平岡裕一)・YAMAMOTO Shigehiro (山本茂弘・静岡県農林大学校)・KATO Kimihiko (加藤公彦・静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター)、Effect of family, crown position, number of winter buds, fresh weight and the length of needle on rooting ability of *Pinus thunbergii* Parl. Cuttings(家系、樹冠位置、冬芽数、生重、針葉長がクロマツさし木発根能力に及ぼす影響)、iForest：doi：10. 3832/ifor1661-008、2016. 01
6. 板鼻直榮・千吉良治・楠城時彦・古本良、テリハボクのつぎ木増殖、平成 27 年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表要旨：7、2015. 08
7. 千吉良治・高橋誠・武津英太郎・倉原雄二・松永孝治・倉本哲嗣・栗田学、スギ精英樹 F1 クローンのさし木発根率について、第 71 回九州森林学会大会：71：506、2015. 1
8. 花岡創、小さな発見から役立つ成果～*Acacia tortilis* の発芽促進手法～、林木育種情報：21：5、2016. 03
9. 倉本哲嗣・千吉良治・栗田学・武津英太郎・倉原雄二・松永孝治、スギ精英樹 F1 クローン若齢個体に対する断幹処理後の萌芽発生数について、第 71 回九州森林学会大会：71：507、2015. 1
10. 倉本哲嗣・栗田学・武津英太郎・倉原雄二・松永孝治・千吉良治、スギ F1 クローン若齢木の断幹処理による萌芽発生数について、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：15、2015. 11
11. 倉本哲嗣・千吉良治・栗田学・武津英太郎・倉原雄二・松永孝治、スギ精英樹 F1 クローン若齢個体に対する断幹処理後の萌芽発生数について、九州森林研究：69：ページ未定、2016. 03
12. 栗田学・大平峰子、特殊な発根促進処理(低温貯蔵)、新世代種苗の増殖マニュアル：11、2016. 03
13. 田中杏奈(九州大学)・栗田学・渡辺敦史(九州大学)、マイクロアレイを利用したスギさし木の遺伝子発現プロファイル、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：14、2015. 11

052 組織培養

1. 谷口亨・河村文郎・石井克明（森林総研フェロー）、国産の「カギカズラ」で漢方薬を作る ― 組織培養で増やし、枝の薬用成分を探る―、平成 27 年度版 成果選集 2015 : 68-69、2015. 07
2. 谷口亨・石井克明（森林総研フェロー）、薬用系樹木カギカズラとワダツミノキの増殖技術の開発、林木育種の最前線-2011 年度～2015 年度の主要成果 : 39、2015. 08
3. 谷口亨、薬用樹木の組織培養、森林総合研究所 110 年のあゆみ : 268-269、2016. 02
4. 谷口亨、薬用系機能性樹木の生産効率化手法の開発に向けた取組、平成 27 年度林木育種成果発表会（平成 28 年 2 月 5 日 木材会館）成果発表 5 番目、2016. 02

06 育苗・その他形質記録

061 育苗

1. 田村明・織田春紀（森林総研非常勤）・山田浩雄・福田陽子・矢野慶介・生方正俊・後藤晋（東京大学大学院農学生命科学研究科）、ガラス温室内長日処理によるエゾマツ実生コンテナ苗の育苗期間短縮、日本森林学会誌 : 97(3) : 135-142、2015. 06

07 樹木園、緑化樹及び広葉樹の育種

072 広葉樹の育種

1. 板鼻直榮・古本良・尾坂尚紀・楠城時彦、西表島古見におけるイジュの開花期間、平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集 : 26 : 13-16、2015. 07
2. 尾坂尚紀・板鼻直榮・楠城時彦、八重山地方に自生する有用樹の増殖方法の検討、平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集 : 26 : 21-24、2015. 07
3. 織部雄一郎、広葉樹の環孔材および散孔材樹種の道管形成にオーキシン極性移動阻害剤が及ぼす影響、日本木材学会大会研究発表要旨集 : 66 : A28-P-16、2016. 03
4. 工藤佳世（秋田県立大学）・織部雄一郎・山岸祐介（北海道大学）・佐々木賢二（秋田県立大学）・鍋嶋絵里（愛媛大学）・半智史（東京農工大学）・船田良（東京農工大学）・高田克彦（秋田県立大学）、ハリエンジュ樹幹に対する植物ホルモン塗布処理が道管配列パターン形成に与える影響、日本木材学会大会研究発表要旨集 : 66 : A28-P-15、2016. 03
5. 武津英太郎、ケヤキ、地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライン（文一総合出版） : 110、2015. 06

08 森林保護技術と被害様式

081 気象害抵抗性育種（凍害、寒風害、雪害等）

1. 玉城聡・織部雄一郎・千葉信隆・落合幸仁（住友林業）、雪に強いスギ品種のコンテナ苗現地適応性・成長評価、東北地方の多雪環境に適した低コスト再造林システムの実用化に向けた研究成果集 ―ここまでやれる再造林の低コスト化― : 6-7、2016. 02
2. 玉城聡・千葉信隆・宮本尚子・那須仁弥・織部雄一郎・落合幸仁（住友林業）、多雪地に植栽したスギ雪害抵抗性品種コンテナ苗の雪曲りからの回復能力、日本森林学会大会学術講演集 : 127 : 139、2016. 03
3. 那須仁弥、雪害抵抗性品種の開発、森林総合研究所百十年のあゆみ : 280-281、2016. 02
4. 三浦真弘・井城泰一・織部雄一郎、気象害抵抗性育種事業により選抜された雪害優良木の性

082 病虫害抵抗性育種(昆虫害、病害等)

1. 星比呂志・高橋誠、マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発ー森林総合研究所林木育種センターの取り組みー、林業と薬剤：213：7-12、2015.09
2. 中林優季（秋田県立大）・松下通也・間宮靖治（無所属）・星崎和彦（秋田県立大）、マツ材線虫病の発病に至らなかった個体における病原体検出試験ー潜在感染化するのか？ー、樹木医学研究：19：106-107、2015.1
3. HOSHIZAKI Kazuhiko(星崎和彦・秋田県立大)・NAKABAYASHI Yuki（中林優季・秋田県立大）・MAMIYA yasuharu(間宮靖治・無所属)・MATSUSHITA Michinari（松下通也）、Localized within-and between-tree variation in nematode distribution during latent state of pine wilt disease makes the disease status cryptic、Forest Pathology (DOI：10.1111/efp.12244)、2015.1
4. HOSHIZAKI Kazuhiko(星崎和彦・秋田県立大)・NAKABAYASHI Yuki（中林優季・秋田県立大）・MAMIYA yasuharu(間宮靖治・無所属)・MATSUSHITA Michinari（松下通也）、Localized within-tree distribution of pinewood nematodes during latent state makes the disease status cryptic、森林学会要旨集：127：P2-115、2016.03
5. 平尾知士・高橋誠・井城泰一・大平峰子・山野遼太郎・磯田圭哉・岩泉正和・松永孝治・渡辺敦史(九州大学)、マツノザイセンチュウ抵抗性品種の次世代化に向けた基盤技術の開発、林木育種の最前線ー2011年度～2015年度の主要成果ー：22、2015.08
6. 平尾知士、林野庁委託事業「マツノザイセンチュウ抵抗性品種開発技術高度化事業」中間報告、林木育種情報：20：2、2016.01
7. 井城泰一、東北育種場 2.1.2 マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発、森林総合研究所百十年のあゆみ：279-280、2016.02
8. 中島剛（青森県）・井城泰一・山野遼太郎・相川拓也・中村克典、接種後2ヶ月経過したクロマツ接木苗におけるマツノザイセンチュウの分布、第127回日本森林学会大会学術講演集：127：P1-142、2016.03
9. 織部雄一郎、事例VI-3 松枯れに強いクロマツ苗木の安定供給に向けたプロジェクト、平成26年度森林・林業白書（全国林業改良普及協会：302頁）：p.195、2015.05
10. 織部雄一郎、東日本大震災で壊滅した海岸防災マツ林の再生に向けた取組、森林総合研究所百十年のあゆみ：281、2016.02
11. 岩泉正和・河合貴之・三浦真弘・玉城聡・磯田圭哉、関西育種基本区の西南日本地域におけるマツノザイセンチュウ抵抗性候補木の追加選抜の取り組み、応用森林学会大会研究発表要旨集：66：49、2015.1
12. 岩泉正和、金閣寺で追加選抜した抵抗性アカマツにおける一次検定合格個体の現地植栽、関西育種場だより：77：2、2015.07
13. 岩泉正和・三浦真弘・河合慶恵・片桐智之（岡山県農林水産総合センター森林研究所）・石井哲（岡山県農林水産総合センター森林研究所）・吉岡寿（広島県立総合技術研究所林業技術センター）・涌嶋智（広島県立総合技術研究所林業技術センター）・杉本博之（山口県農林総合技術センター林業技術部）・大池航史（山口県農林総合技術センター林業技術部）・平尾知士・磯田圭哉、3県の抵抗性アカマツ採種園産種苗における交配組合せと抵抗性の関

- 係、日本森林学会大会学術講演集：127：209、2016.03
14. 三木直子（岡山大学）・岩本圭太（岡山大学）・岩泉正和・楠本大（東京大学）、マツ材線虫病進展初期の防御反応：異なる光条件下のアカマツポット苗木の比較、日本森林学会大会学術講演集：127：161、2016.03
 15. 松永孝治・大平峰子・栗田学・武津英太郎・倉原雄二・千吉良治・倉本哲嗣、1～3年生のクロマツさし木苗のマツノザイセンチュウ抵抗性の苗齢間相関、第71回九州森林学会大会：71：503、2015.1
 16. 松永孝治・井城泰一・高橋誠、第8章 マツノザイセンチュウ抵抗性育種、マツ保護士の手引き（日本緑化センター）：203-218、2015.12
 17. 松永孝治・大平峰子・栗田学・武津英太郎・倉原雄二・千吉良治・倉本哲嗣、1～3年生のクロマツさし木苗のマツノザイセンチュウ抵抗性の苗齢間相関、九州森林研究：69：ページ未定、2016.03
 18. 松永孝治・平尾知士、マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発に関する研究、森林総合研究所百十年のあゆみ：236-237、2016.03
 19. 松永孝治・宮田翔介（九州大学）・岩泉正和・井城泰一・平尾知士・栗田学・倉本哲嗣・田村美帆（九州大学）・渡辺敦史（九州大学）、クロマツの遺伝的多様性を考慮した九州育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種事業について、日本森林学会大会学術講演集：127：143、2016.03
 20. 小林玄（九州大学生物資源環境科学府）・松永孝治・泉湧一郎（九州大学農学部）・山口莉未（九州大学生物資源環境科学府）・渡辺敦史（九州大学農学部農学研究院）、全国から収集したマツノザイセンチュウの特性評価、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：16、2015.11
 21. 泉湧一郎（九州大学農学部）・小林玄（九州大学生物資源環境科学府）・松永孝治・渡辺敦史（九州大学農学部農学研究院）、*Bursaphelenchus xylophilus* の継代培養に伴う対立遺伝子頻度の変化、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：19、2015.11
 22. 山口莉未（九州大学）・松永孝治・下山泰史（ゾエティス・ジャパン株式会社三島ラボラトリー）・渡辺敦史（九州大学）、クロマツ樹体内におけるマツノザイセンチュウ頭数測定手法の確立と初期の接種頭数が枯損に与える影響、日本森林学会大会学術講演集：127：160、2016.03
 23. 小林玄（九州大学）・山口莉未（九州大学）・松永孝治・井城泰一・下山泰史（ゾエティス・ジャパン株式会社三島ラボラトリー）・渡辺敦史（九州大学）、マツノザイセンチュウ頭数増加に与える温度要因の影響、日本森林学会大会学術講演集：127：160、2016.03
 24. 柳澤賢一（長野県林業総合センター）・富樫一巳（東京大学）・松永孝治・杉本博之（北海学園大学）・岡田充弘（長野県林業総合センター）・清水香代（長野県林業総合センター）、マツ材線虫病被害先端地域における線虫媒介昆虫の生息状況、日本森林学会大会学術講演集：127：266、2016.03

09 育種材料の特性

091 総合特性(成長、形態等)

1. Agung Prasetyo（東京農工大学連合農学研究科）・ENDO Ryota（遠藤良太・千葉県農林総合研究センター森林研究所）・TAKASHIMA Yuya（高島有哉）・AISO Haruna（相蘇春菜・東京農工大学連合農学研究科）・Fanny Hidayati（Gadjah Mada University）・TANABE Jun（田邊純・東京農工大学連合農学研究科）・ISHIGURI Futoshi（石栗太・宇都宮大学農学部）・IIZUKA Kazuya

- (飯塚和也・宇都宮大学農学部)・YOKOTA Shinso (横田信三・宇都宮大学農学部)、Variations in Growth Characteristics and Stress-wave Velocities of Zelkova serrata Trees from Eight Half-sib Families Planted in Three Different Initial Spacings. (異なる植栽密度で育成したケヤキ自然交配8家系における成長特性および応力波伝播速度の変異)、Journal of Forest and Environmental Science : 31 : 235-240、2015.08
2. 高橋誠、平成27年度に開発した新品種、林木育種情報 : 21 : 2-3、2016.03
 3. 田村明・星比呂志・高橋誠・加藤一隆・中田了五・織部雄一郎・久保田正裕・倉本哲嗣、開発品種の紹介、林木育種の最前線-2011年度～2015年度の主要成果- : 11、2015.08
 4. 平岡裕一郎・高橋誠・渡辺敦史(九州大学大学院農学研究院)、3-10 地上3次元レーザ計測によるフェノタイピング技術の高度化、林木育種の最前線-2011年度～2015年度の主要成果- : 20、2015.1
 5. 平岡裕一郎・高橋誠・渡辺敦史(九州大学大学院農学研究院)、林木育種における地上LiDAR計測の応用 -スギ精英樹F1家系における樹幹形質の評価-、日本森林学会誌:97(6):290-295、2015.12
 6. 平岡裕一郎・宮下久哉・高屋敷元木、カラマツ特定母樹の指定に向けた取り組み、林木育種情報 : 20、2016.01
 7. 山田浩雄・大塚次郎・大久保典久・宮本尚子・生方正俊・岡村政則、スギ三倍体精英樹の成長・材質評価とさし木発根性-さし木品種としての可能性-、平成27年版林木育種センター年報 : 150-153、2015.08
 8. 花岡創・三浦真弘・平岡裕一郎・武津英太郎・磯田圭哉・井城泰一・松下通也・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、全国に設定された次代検定林データに基づくスギの樹高成長と適応性の変異、日本森林学会大会学術講演集 : 127 : S5-1、2015.08
 9. 花岡創・加藤一隆・松下道也・板鼻直榮・楠城時彦・千吉良治、防風・防潮効果に優れたテリハボクの育種研究、林木育種の最前線-2011年度～2015年度の主要成果- : 3-14、2015.08
 10. 花岡創・松下通也、防風・防潮効果に優れたテリハボクの育種研究、林木育種情報 : 20 : 5、2016.01
 11. 井城泰一・平岡裕一郎・三嶋賢太郎・坪村美代子・栗田学・高島有哉・大平峰子・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)、QTL解析に向けたマッピング集団の形質評価、森林遺伝育種学会第4回大会講演要旨集 : 4 : 39、2015.11
 12. 宮崎潤二(佐賀県林業試験場)・挽地あい子(佐賀県林業試験場)・佐藤嘉彦(大分県農林水産研究指導センター林業研究部)・古澤英生(宮崎県庁)・世見淳一(宮崎県庁)・上杉基(宮崎県林業技術センター)・宮里学(鹿児島県庁)・永吉健作(鹿児島県森林技術総合センター)・倉本哲嗣・武津英太郎・千吉良治・高橋誠・渡辺敦史(九州大学)・藤澤義武(鹿児島大学)、成長速度に優れた種苗の多様な施業下での成長解析、森林遺伝育種学会大会講演要旨集 : 4 : 26、2015.11

092 成長

1. 加藤一隆・大平峰子、エリートツリーの性能評価試験-コンテナを利用した育苗12か月後の成長-、第5回関東森林学会大会講演要旨集 : 18、2015.1
2. 加藤一隆、エリートツリーのコンテナによる育苗試験について、林木育種情報 : 19 : 4、2015.07
3. 加藤一隆・大平峰子、エリートツリーの性能評価試験-育苗時における家系間差-、森林遺

伝育種学会大会講演要旨集：4：1、2015.11

4. 河西優衣(名古屋大学)・尾頭信昌(名古屋大学)・中田了五・今井貴規(名古屋大学)、蛍光顕微鏡法によるカラマツ心材成分の組織内分布の可視化、木材学会誌：61(5)：297-307、2015.09
5. 奥田梨紗子(名古屋大学)・河西優衣(名古屋大学)・中田了五・今井貴規(名古屋大学)、カラマツ心材形成に伴う抽出成分の堆積様式の季節変化、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：A28-P-23、2016.03
6. 玉城聡・星比呂志・板鼻直榮・野口麻穂子・宮下智弘(山形県森研セ)・外館聖八朗(ノースジャパン素流協)、優良種苗の大苗植栽によるスギの下刈り省力化試験、東北森林科学会第20回大会講演要旨集：51、2015.08
7. 玉城聡・辻山善洋・三浦真弘・織部雄一郎・長谷部辰高、東北育種基本区におけるスギ特定母樹の選定・指定ー平成26年度を取組ー、平成27年版林木育種センター年報：143-146、2015.08
8. 玉城聡・長岐昭彦(秋田県林業研究研修センター)・星比呂志・外館聖八朗(ノースジャパン素材流通協同組合)、大苗利用による下刈り回数の削減、東北地方の多雪環境に適した低コスト再造林システムの実用化に向けた研究成果集ーここまでやれる再造林の低コスト化ー：20-21、2016.02
9. 玉城聡、特定母樹とエリートツリー(第二世代精英樹)の選抜と普及、岩手の林業：700：8、2016.03
10. 武津英太郎・栗田学・平岡裕一郎・米康充(島根大学)、UAV空撮とSfMによる樹高計測の林木育種への適用可能性の検討、日本森林学会大会学術講演集：127：209、2016.03

093 材質(心材色を含む)

1. 田村明・松本和茂(北海道立総合研究機構林産試験場)・藤本高明(鳥取大学)・黒丸亮(北海道立総合研究機構林業試験場)・来田和人(北海道立総合研究機構林業試験場)、カラマツの次世代化に向けた材質育種の取り組み、森林遺伝育種：4(4)：162-166、2015.1
2. 田村明・中田了五・福田陽子・矢野慶介・井城泰一・生方正俊・山田浩雄、心材の含水率が低いトドマツ品種の開発、森林総合研究所平成27年版研究成果選集：60-61、2015.07
3. 宮下久哉・高島有哉・平岡裕一郎、ヒノキ精英樹実生後代における成長とピロディン陥入量の関係、第5回関東森林学会大会講演要旨集：：16、2015.1
4. 宮下久哉・高島有哉・平岡裕一郎、ヒノキ精英樹実生後代における成長とピロディン陥入量の関係、関東森林研究：67(1)：ページ未定、2016.03
5. 宮下久哉・高島有哉・平岡裕一郎、ヒノキ精英樹実生後代におけるピロディン陥入量の遺伝性、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：B29-01-1030、2016.03
6. 井城泰一・田村明、育種部2.5材質優良品種の開発に関する研究、森林総合研究所百十年のあゆみ：238-239、2016.02
7. 井城泰一・石栗太(宇都宮大学)・高島有哉・平岡裕一郎・三浦真弘・渡辺敦史(九州大学)、スギにおけるヤング率および密度の遺伝性の解明、第66回日本木材学会大会研究発表要旨集：66：B28-P-01、2016.03
8. 清水友梨(名古屋大学)・井城泰一・今井貴規(名古屋大学)、スギ心材におけるノルリグナンオリゴマーの質的・量的挙動の調査、第66回日本木材学会大会研究発表要旨集：66：M28-P-02、2016.03

9. 宮本尚子・飯塚和也(宇都宮大学)・那須仁弥・山田浩雄、スギにおける心材・辺材色の変異とそのカリウム含量、日本植物学会大会第79回大会研究発表記録：79：P-062、2015.09
10. 飯塚和也(宇都宮大学)・瀬尾淳一郎(宇都宮大学)・大島潤一(宇都宮大学)・宮本尚子・石栗太(宇都宮大学)・横田信三(宇都宮大学)・平田慶(宇都宮大学)、スギの植栽による林業的除染の可能性の模索、第52回アイソトープ・放射線研究発表会：52：IP-10、2015.07
11. 飯塚和也(宇都宮大学)・丸山友行(栃木県林業センター)・宮本尚子・大島潤一(宇都宮大学)・石栗太(宇都宮大学)・逢澤峰昭(宇都宮大学)・大久保達弘(宇都宮大学)・横田信三(宇都宮大学)、スギ樹体内に吸収された放射性セシウムとカリウムの挙動の関係、日本植物学会大会第79回大会研究発表記録：79：P-046、2015.09
12. 飯塚和也(宇都宮大学)・金指努(名古屋大学)・宮本尚子・大島潤一(宇都宮大学)・石栗太(宇都宮大学)・横田信三(宇都宮大学)、福島原発事故後4年8ヶ月間におけるスギの木部半径方向の¹³⁷Cs濃度の特徴、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：Q28-P-05、2016.03
13. 倉原雄二、横打撃共振法による九州地方のスギ精英樹の心材含水率の推定、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：35、2015.11
14. 倉原雄二・武津英太郎・栗田学・福山友博・竹田宣明、横打撃共振法で推定した心材含水率の植栽地による違い、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：B28-P-04、2016.03

094 抵抗性

1. 高島有哉・井城泰一・平岡裕一郎・宮下久哉・小林咲(宇都宮大学農学部)・相蘇春菜(東京農工大学連合農学研究科)・石栗太(宇都宮大学農学部)、36年生カラマツ精英樹人工交配家系のオオウズラタケに対する耐朽性、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：B28-P-09、2016.03
2. 山野邊太郎・三浦真弘・平尾知士・那須仁弥・織部雄一朗、アカマツにおけるマツノザイセンチュウ抵抗性と成長・形態の遺伝的相関関係、日本森林学会大会学術講演集：127：143、2016.03

095 その他

1. 中田了五、針葉樹生立木樹幹含水率の連続モニタリング(第2報)、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：B29-01-0915、2016.03
2. 岩泉正和・河合慶恵・三浦真弘・井城泰一・磯田圭哉・渡辺敦史(九州大学)、関西育種基本区におけるヒノキ第二世代精英樹候補木の多様性評価、森林遺伝育種学会大会要旨集4：10、2015.11
3. 宮田翔介(九州大学)・岩泉正和・井城泰一・田村美帆(九州大学)・渡辺敦史(九州大学)、抵抗性品種開発に向けたクロマツの遺伝的多様性評価、森林遺伝育種学会大会要旨集4：12、2015.11
4. 河合慶恵・久保田正裕・磯田圭哉、スギ雄性不稔遺伝子をヘテロで保有する個体を自殖によって探索する試み、応用森林学会大会研究発表要旨集：66：51、2015.1
5. 河合慶恵、スギ雄性不稔遺伝子のヘテロ保有精英樹の探索をより簡易にする試みー自殖種子の利用ー、関西育種場だより：78：2、2015.11
6. 河合慶恵・磯田圭哉・池田武文(京都府立大院)、スギの半兄弟家系における雄花稔性と水分特性との関連、日本森林学会大会学術講演集：127：P1-132、2016.03
7. 三浦真弘・井城泰一・中田了五・宮下智弘(山形県森林研究研修センター)、多産性カラマツ

- 後代の着花性の評価、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：25、2015.11
8. 松永孝治・平岡裕一郎、省力化林業に役立つ品種開発に関する研究、森林総合研究所百十年のあゆみ：234-235、2016.03

10 遺伝資源

101 収集、保存

1. 遠藤圭太、樹木の越冬メカニズムを利用して冬芽を-196℃で保存する、林木育種情報：20：6-7、2016.01
2. 大塚次郎・大久保典久・加藤智子・飯野貴美子・飯田啓達・山田浩雄、林木遺伝子銀行 110 番で依頼を受けた天津栗の増殖について—シバグリとシナグリの接ぎ木不親和性—、平成 27 年版林木育種センター年報：154-155、2015.08
3. 大塚次郎・近藤禎二(森林総研非常勤職員)・飯田啓達・飯野貴美子・磯田圭哉・山田浩雄・木下敏・生方正俊、コウヨウザンのさし木発根性および苗木の枝性について、関東森林研究：67(1)：ページ未定、2016.03
4. 木村恵・山田浩雄・生方正俊、コナラ属樹種における種子の長期保存に関する問題点、森林遺伝育種：4(3)：105-114、2015.07
5. 楠城時彦、希少樹木講座 6:八重山諸島の希少樹種の保全、樹木医学研究：19(4)：205-211、2015.1
6. 楠城時彦、古本良、加藤智子、板鼻直榮、千吉良治、八重山諸島に自生する希少樹種の着果および種子の特性調査、第 71 回九州森林学会大会：71：509、2015.1
7. 楠城時彦、尾坂尚紀、板鼻直榮、古本良、八重山産希少樹種の果実および種子の特性調査、九州森林研究：68：119-121、2015.03
8. 楠城時彦、尾坂尚紀、板鼻直榮、古本良、西表島における希少樹種トゲミノイヌチシャの着果状況調査及び種子の特性評価、平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集：26：17-20、2015.07
9. 楠城時彦、加藤智子、板鼻直榮、古本良、千吉良治、八重山諸島の希少樹種の着果状況および種子の特性調査、平成 27 年度亜熱帯森林・林業研究会講演要旨集：27：4、2015.08
10. 宮本尚子・那須仁弥・大谷雅人・木村恵・山田浩雄・生方正俊、林木遺伝資源の収集・保存手法の開発、森林総合研究所 平成 27 年版 研究成果選集：64-65、2015.07
11. 岩泉正和・大谷雅人・那須仁弥、アカマツ生息域内保存林における散布種子の遺伝的多様性—保存林スケールでの評価—、林木育種の最前線—2011 年度～2015 年度の主要成果—：34、2015.1
12. 岩泉正和・磯田圭哉・檜木野俊昭・笹島芳信、希少樹種の大量結実とジーンバンク収集—トガサワラとシコクシラベ—、林木育種の最前線—2011 年度～2015 年度の主要成果—：38、2015.1
13. 岩泉正和・磯田圭哉・檜木野俊昭・笹島芳信・祐延邦資(森林総研非常勤職員)、関西育種基本区内の希少樹種における平成 26 年の大量結実とジーンバンク収集—トガサワラとシコクシラベ—、平成 27 年版林木育種センター年報：152-155、2015.08
14. 岩泉正和・笹島芳信・河合慶恵・磯田圭哉・那須仁弥・大谷雅人(兵庫県立大・自然研)、固有樹種シコクシラベの石鎚山集団から採種した次世代の遺伝的多様性、日本生態学会大会講演集 63：、2016.03

102 分類、同定、評価

1. 磯田圭哉・上野真義・久保田正裕・三浦真弘・倉本哲嗣・倉原雄二・竹田宜明・大塚次郎・飯野貴美子・飯田啓達・近藤禎二(森林総研非常勤職員)・山田浩雄・生方正俊、国内コウヨウザン人工林における遺伝的多様性の解明、日本森林学会大会学術講演集：127：P1-118、2016.03
2. 生方正俊・田村明、長野県東部におけるカラマツ着花への環状剥皮の効果、関東森林学会大会講演要旨集：5：18、2015.1
3. 生方正俊・加藤智子・大久保典久・大塚次郎、絶滅危惧種オガサワラグワの時期別のさし木発根性、関東森林研究：66(2)：115-118、2015.09
4. 生方正俊・田村明・松下通也、カラマツの環状剥皮に対する着花促進効果のクローン間変異、日本森林学会大会学術講演集：127：P1-138、2016.03
5. 生方正俊・田村明・山田浩雄、エゾマツ種子の発芽タイミングの温度による変動、日本生態学会大会講演要旨：63：P2-107、2016.03
6. 遠藤圭太・生方正俊・山田浩雄、ブナ科樹木における種子の乾燥耐性、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：A28-P-01、2016.03
7. 近藤禎二(森林総研非常勤職員)・山田浩雄・磯田圭哉・大塚次郎・飯田啓達・飯野貴美子・木下敏・生方正俊・藤澤義武(鹿児島大学)、茨城県における21年生コウヨウザンの成長、関東森林研究：67(1)：ページ未定、2016.03
8. 藤澤義武(鹿児島大学)・佐藤新一・山田浩雄・近藤禎二(森林総研非常勤職員)、北関東で成育する19年生コウヨウザンの木材性質とその家系間変異、関東森林研究：66(2)：183-186、2015.09
9. 山田浩雄・安部波夫・塙栄一・大塚次郎・磯田圭哉・生方正俊、コウヨウザンの所在地データベースの作成、日本森林学会大会学術講演集：127：P1-136、2016.03
10. 楠本倫久(学振PD)・山田浩雄・向井裕美(学振PD)・高梨琢磨・河村文郎、スギ球果の成熟過程におけるテルペン組成の変化、日本木材学会大会研究発表要旨集：66：226、2016.03
11. 宮本尚子、気候条件からみた林木遺伝資源保存林の評価、林業いばらき：693：9、2015.04
12. 宮本尚子・山田浩雄・生方正俊・那須仁弥・木村恵・大谷雅人、GIS技術を用いた林木遺伝資源の保存状況の可視化、林木育種の最前線-2011年度~2015年度の主要成果-：29、2015.08
13. 岩泉正和・大谷雅人・高橋誠・津田吉晃(筑波大学)・津村義彦(筑波大学)、アカマツの地理的変異の解明、林木育種の最前線-2011年度~2015年度の主要成果-：33、2015.1
14. Iwaizumi, M.G. (岩泉正和), Aizawa, M. (逢沢峰昭：宇都宮大学), Watanabe, A. (渡辺敦史：九州大学) and Goto, S. (後藤晋：東京大学)、Highly polymorphic nuclear microsatellite markers reveal detailed patterns of genetic variation in natural populations of Yezo spruce in Hokkaido (エゾマツの超多型SSRマーカーの開発により北海道内天然集団の詳細な遺伝的変異が明らかになる)、Journal of Forest Research 20：301-307、2015.04
15. 岩泉正和、アカマツ、地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライン pp.60-62、2015.06
16. 岩泉正和、日本の森林樹木の地理的遺伝構造 (10) アカマツ(マツ科マツ属)、森林遺伝育種 4：115-120、2015.07

103 情報管理

1. 山田浩雄、林木遺伝資源の「見える化」について、林木育種情報：21：4、2016.03
2. 宮本尚子・小野雅子・渡辺敦史・那須仁弥・大谷雅人・生方正俊・藤澤義武、スギコアコレクションの作成、林木育種の最前線ー2011年度～2015年度の主要成果ー：32、2015.08
3. 宮本尚子、DNAを用いた個体識別、東北の林木育種：211：8、2016.02

11 天然林等の育種

111 天然林の育種

1. 生方正俊、クロマツ、地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライン(津村義彦・陶山佳久_編：170pp：文一総合出版)：63-65、2015.06
2. 木村恵、森林植物の交配様式と更新過程およびそれらの保全に関する研究、森林遺伝育種：4(2)：59-64、2015.04
3. MATSUSHITA Michinari(松下通也)・HOSHIZAKI Kazuhiko(星崎和彦・秋田県立大)、A spatially-explicit integrative model of dispersal process of leaf litterfall、The 31st Annual Meeting of The Society of Population Ecology Meeting Program & Abstracts：[P12]、2015.1
4. Michinari MATSUSHITA(松下通也)、Predicting litterfall mixtures from tree distribution by modelling leaf dispersal process of riparian trees.、International workshop：Direction for ecological studies on global network of forest dynamics. (1st：Studies by young scientists in FDPs in and around Japan.)、2015.10.30
5. 花岡創・大平峰子・松下通也・Jason Kariuki (Kenya Forestry Research Institute)、東アフリカの有用樹種 *Melia volkensii* における根挿し増殖の成功条件、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：5、2015.11
6. HANAOKA So(花岡創)・Cenon Padolina (SPC)・Elina Young (SPC)、Genetic structure and differentiation of sea-drifted seed dispersal plant *Calophyllum inophyllum* in island populations of South Pacific area(南太平洋地域における海流散布植物 *Calophyllum inophyllum* の遺伝構造と遺伝的多様性)、日本生態学会大会講演要旨集：63：P2-044、2016.03
7. Stephen Frederic OMONDI(KEFRI)・Joseph MACHUA(KEFRI)・John GICHERU(KEFRI)・So HANAOKA(花岡創)、Isolation and characterization of microsatellite markers for *Acacia tortilis* (Forsk.) Hayne. (*Acacia tortilis* のマイクロサテライトマーカーの単利と特徴付け)、Conservation Genetics Resources：7(2)：529-531、2015.06

112 複層林の育種

1. 土井絵里子(弘前大)・赤田辰治(弘前大)・石田清(弘前大)・松下通也・鳥丸猛(三重大)、白神山地高倉森調査区における成木群集の動態と実生・稚樹群集の空間分布パターンの解析、森林学会要旨集 127：P1-086、2016.03
2. 鳥丸猛(三重大)・若松真隆(三重大)・佐野淳之(鳥取大)・永松大(鳥取大)・松下通也・稲永路子(秋田県立大)・戸丸信弘(名古屋大)、台風攪乱がブナ老齢林を構成する主要樹種の稚樹の個体群動態に及ぼす影響、森林学会要旨集 127：P2-115、2016.03
3. 鳥丸猛(三重大院)・松下通也・鈴木聖(弘前大)・松山信彦(弘前大)、雌雄異株性低木種ヒメアオキのパッチの開花比・性比に影響を及ぼす要因、生態学会要旨集 63：P2-109、

1 2 外国樹種の育種

1 2 1 外国樹種の育種

1. 生方正俊・近藤禎二(森林総研非常勤)・山田浩雄・磯田圭哉・木村恵・遠藤圭太・大塚次郎・木下敏・塙栄一・飯田啓達・飯野貴美子・安部波夫・久保田正裕・倉本哲嗣・藤澤義武(鹿児島大学)・鶴川信(鹿児島大学)・涌嶋智(広島県立総合技術研究所林業技術センター)・渡辺靖崇(広島県立総合技術研究所林業技術センター)・松岡秀尚(中国木材株式会社)、早生樹種コウヨウザンの品種改良に向けて、森林遺伝育種学会大会講演要旨集：4：19、2015. 11

1 2 2 海外の林木育種技術協力

1. 田村明、フィンランド自然資源研究所との共同研究、林木育種情報：19：7、2015. 07
2. 田村明・生方正俊・山田浩雄・福田陽子・矢野慶介、フィンランド自然資源研究所との共同研究－ハイブリッドトウヒの育種－、林木育種の最前線－2011 年度～2015 年度の主要成果－：26、2015. 08
3. 田村明、成果集の公表について、林木育種情報：20：8、2016. 01
4. 田村明・福田陽子・矢野慶介・生方正俊・山田浩雄、フィンランドとの林木育種共同研究、森林総合研究所百十年のあゆみ：261-263、2016. 02
5. 宮下久哉、ケニア乾燥地耐性育種プロジェクト、第 13 回環境研究シンポジウム：41、2015. 11
6. 宮下久哉、ケニア乾燥地耐性育種プロジェクト(JICA 技術協力)、森林総合研究所百十年のあゆみ：255-258、2016. 02

1 3 会議報告

1. 矢野慶介、フィンランド共和国での共同セミナーの報告、野幌の丘から：185：2、2015. 1
2. 倉本哲嗣・佐藤省治、鹿児島県で「九州地区特定母樹等普及促進会議」を開催、九州育種場だより：32：2、2016. 01

1 5 その他

1. MAEBASHI Naoya (前橋尚弥・秋田県立大)・MATSUSHITA Michinari (松下通也)・HOSHIZAKI Kazuhiko(星崎和彦・秋田県立大)、Bayesian estimation of population density of Asiatic Black Bears in a low-density area in Akita, Northern Japan、The Vth International Wildlife Management Congress 2015 Poster-no.100、2015. 7. 29
2. 前橋尚弥 (秋田県立大)・松下通也・星崎和彦 (秋田県立大)、ベイズ推定法を用いたツキノワグマ分布拡大地域における個体数推定、Akita Prefectural University Web Journal B 2：187-191、2015. 09
3. 早坂友輔 (秋田県立大)・松下通也・井上みずき (秋田県立大)・蒔田明史 (秋田県立大)、森林－水田景観における畦畔草地の送粉ネットワーク構造－隣接するスギ人工林の影響－、種生物学会 第 47 回種生物学シンポジウム講演要旨 P41、2015. 12
4. 前橋尚弥 (秋田県立大)・松下通也・星崎和彦 (秋田県立大)、秋田県のツキノワグマ低密度地域におけるベイズ法を用いた個体数推定、日本生態学会 東北地区会 2015 第 60 回大会講演要旨：60 ページ 11、2015. 12. 5

5. 前橋尚弥 (秋田県立大)・松下通也・星崎和彦 (秋田県立大)、空間明示型捕獲再捕獲法によるツキノワグマの個体数推定-カメラとラップと目撃情報を用いた統合-、森林・林業技術交流発表集 (平成 27 年度) : p29、2016. 02
6. 中田了五、カラマツでの原木選別のすすめ、日本木材加工技術協会第 33 回年次大会 (札幌) 講演要旨集 : 29-30、2015. 09
7. Shahanara Begum (バングラデシュ農科大学)・KUDO Kayo (工藤佳世・秋田県立大学)・MATSUOKA Yugo (松岡佑悟・東京農工大学)・NAKABA Satoshi (半智史・東京農工大学)・YAMAGISHI Yusuke (山岸祐介・北海道大学)・NABESHIMA Eri (鍋嶋絵里・愛媛大学)・Hasnat Md Rahaman (東京農工大学)・Widyanto Dwi Nugroho (ガジヤマダ大学)・ORIBE Yuichiro (織部雄一郎)・Jin Hyun-0 (慶熙大学校)・FUNADA Ryo (船田良・東京農工大学)、Localized cooling of stems induces latewood formation and cambial dormancy during seasons of active cambium in conifers. (活動期に針葉樹の樹幹への局部冷却処理によって誘導された晩材形成と形成層休眠)、Annals of Botany : 117(3) : 465-477、2016. 03
8. 宮本尚子、2. 1. 1 東北育種場 研究または事業の成果 新品種の開発、森林総合研究所百十年のあゆみ : 279、2016. 02
9. 三浦真弘、コウヨウザンについて、関西育種場だより : 78 : 1、2015. 11
10. 栗田学、もし山を持っていたら、森林遺伝育種 : 5(1) : 39、2016. 01
11. 松永孝治・武津英太郎・竹田宣明・福山友博・大城浩司・澤村高至・松永順・濱本光・平尾知士・小野雅子・平岡裕一郎・佐藤新一・栗田学・渡辺敦史 (九州大学)・高橋誠、ラベル現地複製システム「ラベルふえる君」、森林遺伝育種 : 4(2) : 82-86、2015. 05